

緑内障の リスクと クスリ



9/10 [SUN]
8:00 >>> 8:50

第8会場

(東京慈恵会医科大学 大学1号館 5F講堂)

第34回日本緑内障学会への
参加には、参加登録が必要です。

詳しくは
こちら! ▶



座長



中村 誠 先生
(神戸大学)

緑内障は多因子疾患であり、眼圧以外にも全身、局所の様々な発症・進行のリスクファクターがあることが知られている。遺伝や年齢など対応しようがないリスクもあるが、睡眠時無呼吸や運動不足等、発見と生活指導で改善が期待できるリスクもある。逆にβ遮断薬の長期連用は気づかぬうちに呼吸・循環状態に害を及ぼすこともある。一方で、明確に効果のある治療介入は眼圧下降であり、点眼薬が緑内障治療の主役の座を譲ることはない。しかし、点眼薬を継続して使用するには患者アドヒアランスを高めるような配慮が必要であるし、手術治療効果を落とす可能性のある点眼処方では避けなければいけない。このセミナーでは、如何にして緑内障あるいは全身へのリスクを下げ、どのようにして正しいクスリを選択するかについて、エキスパートのお二人の先生からご講演頂くこととする。

演者 1



緑内障の
リスク

新田 耕治 先生
(福井県済生会病院)

演者 2



緑内障の
クスリ

本庄 恵 先生
(東京大学)